

第 36 回 日本保健医療社会学会大会プログラム

一般演題セッション(各発表 12 分、質疑応答 8 分)

敬称略

第 1 日目 5 月 15 日(土)13:00 ~ 15:00

「キャリア戦略と健康」

教室 E312

司会 藤澤 由和 (静岡県立大学)

1. リスク対応能力の向上を目指した教育の実践と展望 総合大学における科学技術関連の授業を事例として
東京大学 山邊 昭則
2. 男性看護師の生存戦略の様相 アドバンテージ獲得の過程に着目して
東北大学大学院 朝倉 京子
3. 仕事特性・職場の社会的風土と Sense of Coherence と心身の健康との関連性の検討
東京大学大学院 益子 友恵
4. ストレス対処力 SOC の介入方策開発可能性はどこまで探れたか
東京大学大学院 山崎 喜比古

第1日目 5月15日(土)13:00～15:00

「高齢者とケア」

教室 E412

司会 中村 美鈴(自治医科大学)

1. 介護保険に従事する専門家による要介護認定者の効用値(障害の重み)の算出

茨城県立健康プラザ/首都大学東京 栗盛 須雅子

2. 介護職員の職場定着を図るための実証的研究 予備調査結果から

宇都宮短期大学 古川 和稔

3. 胃ろうを造設した高齢者への療養継続支援の実態とその課題 ソーシャルワーカーへのアンケート調査の結果から

介護老人保健施設 ひかわした 工藤 妙子

4. 認知症高齢者の家族が認知症罹患を認識してから受診に連れて行くかどうかを決めるまでのプロセス

千葉大学大学院 国井 由生子

5. 外的基準からの超越としての高齢期

京都大学 竹内 みちる

第1日目 5月15日(土)13:00～15:00

「コミュニティと健康」

教室 E313

司会 金子 雅彦(防衛医科大学校)

1. 某県建設国保組合のレセプト点数の年次推移と健康推進運動との関連(第一報)

東京大学大学院 藤井 暢弥

2. 国民生活基礎調査における健康票と自殺との関連 -特に悩みの原因と相談状況における有訴率との関連に注目して-

川崎医療福祉大学大学院 仁宮 崇

3. 認知症予防観への着眼の意義と可能性 7ケースのデイサービス利用高齢者の予備的面接調査から

東京大学大学院 星野 周也

4. コミュニティにおけるケアの専門性 Problem-oriented から Trouble-oriented へ

京都大学大学院 鮫島 輝美

5. 社会生活における不安と健康不安との関連

日本学術振興会 三澤 仁平

6. 思春期における地域の秩序の乱れ(disorder)、社会的信頼と精神健康の関係

東京学芸大学 朝倉 隆司

第1日目 5月15日(土)13:00～15:00

「痛みとがん」

教室 E413

司会 渋谷 優子(新潟医療福祉大学)

1. 末期癌患者の死にどう寄り添うか - ある緩和ケア医の取り組みから -

石川県立看護大学 阿部 智恵子

2. 病いの語りにみる,がん体験後のポジティブな変化 Posttraumatic Growth との比較

筑波大学大学院 佃 志津子

3. エビデンスに基づいたがん予防知識・行動の普及および普及方法の開発に関する研究

国立がんセンター 溝田 友里

4. 青森県民はなぜがん検診を受ける / 受けないのか?

東京大学大学院 山崎 浩司

5. 線維筋痛症患者における Biographical Reconstruction とセルフヘルプグループ

東京大学大学院 / 日本学術振興会 本間 三恵子

第1日目 5月15日(土)13:00～15:00

「保健医療と社会」

教室 E301

司会 山田 富秋(松山大学)

1. オンラインコミュニティにおけるソーシャルキャピタルと健康の関連

聖路加看護大学 瀬戸山 陽子

2. フランスの「在宅入院制度」における患者・家族の認識 「目的志向」から「関係志向」の医療へ

国立保健医療科学院 松繁 卓哉

3. インドネシア人看護師候補生(第一陣)受入れの取組み

河北総合病院 田淵 由美

4. 沖縄県における男性同性愛者へのHIV感染予防に関する調査研究 当事者参加型アクションリサーチによる量的調査

横浜国立大学 加藤 慶

5. 免疫機能障害者の自立・就労・社会参加推進のための系統的支援の調査と実践の概観 患者の主体化と社会変化を視野に入れた、この3年

はばたき福祉事業団/東京大学大学院 久地井 寿哉

第2日目 5月16日(日)9:00~11:00

「語りと分析手法」

教室 E413

司会 野口 裕二(東京学芸大学)

1. 柔道整復師の触診と患者の「痛み」

東京医学柔整専門学校 / 東京福祉大学 海老田 大五朗

2. 断酒会会員の語りにおけるコミットメントの差異化と包摂

大阪大学 心光 世津子

3. 精神と身体の疾患を併せ持つ患者の生と死 精神科身体合併症病棟と町のエスノグラフィー

和ホスピタル 白柿 綾

4. テキストマイニング法を用いた百寿者の“語り”の構造分析

山口県立大学大学院 山下 稔哉

5. 家族介護における「二者関係への閉塞」のメカニズム 認知症患者と家族のコミュニケーションの一断面

京都大学大学院 / 日本学術振興会 木下 衆

6. 構造的暴力と健康と病いの社会学 Structural Violence and Sociology of Health & Illness

大阪大学 CSCD 池田 光穂